

# 議員定数削減の動き

## 下諏訪 無投票当選を問題視

下諏訪町議の有志数人が来春の統一地方選を見据え、町議会の議員定数削減に向けて動き出した。この20年間に  
行われた5回の選挙で選挙戦になったのは2回。「無投票は住民の政治への興味を下げる。(選挙戦で)議員がアピールする機会もなくなる(有志の一人)」と無投票当選を問題視し、議員定数を現状の13人から11人に減らすことで現状を打破したい考えた。町議会12月定例会に  
条例改正案を提出する方針。  
(樋口美世子)

## 条例改正案提出の方針

町議会の議員定数は戦後、さまざまに変遷をたどりながら減ってきた。1951年に26人から22人に、55年に22人から16人に減らすことを可

決。58年には旧長地村の2地区が同町へ編入したことに伴い18人に、59年に18人から22人に増員されたが、以降は人口減少やなり手不足などを背

景に削減傾向が続いた。85年に22人から20人に、95年に20人から18人に、近年では2005年に18人から13人に削減され、現在に至っている。

過去20年間の選挙で無投票になったのは2003年、11年、前回19年の3回。迫る23年4月の町議選も無投票になるのではとの懸念から議会として何とかできないかと今年3月、林元夫議員ら町議有志6人が連名で議長宛てに「議員定数削減のための議論をする」との要望書」を提出。8月の町議会全員協議会で議員定数削減について議論

したが反対意見もあり、議論が進まない状況という。

町議会は、議会に関心を持つてもらおうと、「開かれた議会」を目指して町民との懇談会などにも取り組んできた。ただ、林議員は無投票では議員が町民の負託に答えられないとし、「(議員定数削減の)実質的アクションを出たい」とする。「町民が少しでも議員定数について考える機会になれば」と話した。

一方で、議員定数削減に反対する議員もいる。ある議員は「これ以上減らして民意を反映した議論ができるのか。議員の仕事の魅力をPRすることの方が大事」と指摘する。別の議員は「数を減らすと町民の声を聞く受け皿を減らすことになる」と議員定数は議会内部だけで議論するのはなく、町民と一緒に議論する場が必要」と述べた。

# 読者文芸

## 俳句

◇原村俳句教室◇

盛り場の古刹のしじま墓洗ふ 高山 隆雄

折紙を容れし虫籠吊るしけり 平野 秀一  
 心とは自由で気まま大花野 川久保京子  
 虫籠や空家となりて早四年 大塚 正子  
 鬮拳げて小宮祭なり紙吹雪 宮坂 幸代  
 全快と書き紙飛行機を秋天へ 細川 浩治  
 虫籠へ屈み込む子や空赤し 加藤津恵子  
 虫籠に草入れすぎし子供達 西脇 成子  
 虫籠に客の寄り来てカフエテラス 野明 昌子

## 議員定数削減を

下諏訪町議会議員選挙は、この20年で2回しか選挙が行われてません。無投票では議員が町民の負託にこたえられないとの不満を耳にします。無投票は議員の責任ではありませんが、議会として何かできないか。こう考え議員6名(樽川・田嶋・林・岩村・青木・大橋)

の連名で、議長あてに「議員定数削減のための議論をすることの要望書」を今年3月14日に提出しました。

# 声

これを受けて全員協議会で議論を始め、やっと8月の全協で議員定数削減について話し合われました。し

かし保身をはかる議員も多く、進みません。富士見町と同じ議員定数11人とする、条例改正案を12月定例会で提出しようと思いが、皆様はどう考えますか。削減分の報酬を若手議員が立候補しやすいように増額することも可能です。より良い議会にするための声をお聞かせください。

(林元夫・岩村清司)